

持続可能な地域公共交通と交通まちづくりに関する研究

研究の概要

人口減少や条件不利に直面する地方都市圏を対象に、持続可能な「交通まちづくり」と「地域経済の強靱化（レジリエンス）」を追究する実証的研究です。交通経済学・計画学を基盤とし、紀伊半島周辺での20年以上のフィールドワークをもとに、現場課題の解決と理論化を両立させてきました。具体的には、和歌山電鐵貴志川線の再生にみる地域鉄道の社会的価値評価や、GIS（地理情報システム）を用いた交通サービス水準の可視化と分析、さらに文化財へのアクセシビリティ評価など、多面的なアプローチを展開しています。2024年にSDGs時代の交通政策を体系化した単著で日本地域学会の学会賞を受賞し、2026年現在は、交通網の縮退が地域経済に与える臨界点の解明や、複合的ショックに適応できる強靱な地域社会の構築に向け、科学的根拠に基づく政策立案や社会実装につながる研究を進めています。



研究の特徴

人口減少や少子高齢化が進む地域において、持続可能な地域公共交通の実現を通じた地域活性化を研究テーマとしています。地域の鉄道やバスなどの公共交通を、移動手段としてだけでなく、地域経済や観光、福祉、まちづくりを支える重要な社会基盤と捉え、交通政策と地域政策を一体的に検討しています。自治体や交通事業者との共同研究や各種計画策定への参画実績が豊富であり、紀伊半島周辺をはじめとする地域の実情に応じた交通ネットワークの構築、交通弱者への移動支援、観光振興との連携、空港の活性化など、実践的な課題解決に取り組んでいます。データ分析と現地調査を重視しながら、地域の課題解決や政策立案、事業推進につながる実効性の高い研究を進め、研究成果の社会実装にも積極的に取り組んでいます。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

紀伊半島周辺で長期総合計画、地域公共交通計画、立地適正化計画、バリアフリー基本構想等の協議会・審議会に多数参画。空港需要創出、コミュニティバス再編、有償カーシェア実証など自治体や企業との共同研究・受託研究実績が豊富。研究室等で指導する学生が各地でモビリティ・マネジメントや観光列車の運行などに参画。

研究者からのメッセージ

自治体や企業等と連携し、地域公共交通や交通まちづくりに関する受託研究・共同研究を推進しています。計画策定や政策立案など、地域課題の解決に向けたご相談を歓迎します。

URL <https://researchmap.jp/tsujimotok>

研究分野：交通政策・交通計画、交通経済学、地域政策

研究者の所属部局・職位・氏名：和歌山大学経済学部 兼 大学院観光学研究科・教授・辻本勝久

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp